



2013年9月1日発行

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島康 熊本市西区島崎4丁目5-13

連続シンポジウム 「世界の阿蘇に立野ダムはいらない」



立野ダム予定地見学会。北向谷原始林をバックに
記念撮影 2013.5.18

5月18日、立野ダム予定地見学会と、大津町でシンポジウムを開きました。

午前10時からの立野ダム予定地見学会には約70名が参加。標高差約100mの立野峡谷を歩いて下り、立野峡谷の深さと自然のすばらしさを体感しました。阿蘇長陽大橋からは、ダムができれば水没する白川・黒川合流点や旧戸下温泉、阿蘇北向谷原始林一带を見学しました。

午後からの連続シンポジウム part 2 「世界の阿蘇に立野ダムはいらない」は約100名の参加で、会場の大津町文化ホールはほぼ満席となりました。

立野ダム問題の概要説明の後、立野峡谷を泳いで下るキャニオニングを指導する原田秀夫さんが活動の様子を紹介しました。キャニオニングは、救命胴衣やウエットスーツなどの装備で自然の峡谷を泳いで下るスポーツです。多くのスライドを見ながらのお話で、立野峡谷と白川の清流のすばらしさに皆驚いていました。

原田さんは、「世界に誇る自然を次代に引き継ぐために、どうすればいいのかを考えてほしい」と訴えました。その後も、水害体験者をはじめ多くの会場発言があり、運動の広がりを感じる一日となりました。

9月20日午後7時より、熊本市民会館大会議室で、連続シンポジウムpart3を開きます。一人でも多くの方に立野ダム問題を知っていただくために、身近な人を1人でも多く連れてきてください！



満席となった大津町文化ホール 2013.5.18

●立野ダムをめぐる動き 2013年5月～8月

- 2013年5月9日 熊本県民医連が立野ダム問題学習会（神水病院）
- 5月18日 立野ダム予定地現地見学会（70名参加）、連続シンポジウム「世界の阿蘇に立野ダムはいらない」（大津町文化ホール 100名参加）
- 5月19日 婦人有権者同盟が立野ダム問題学習会（パレアにて）
- 5月19日 熊本市下通りで署名活動とビラ配り（11名参加）
- 5月30日 「白川の安全を守るために立野ダムより河川改修を進めることを求める要望書」を熊本市、熊本県、立野ダム工事事務所に提出
- 5月31日 熊本県による白川改修計画の現地説明会
- 6月12日 白川改修計画（熊本県管理区間）現時点での住民案を熊本県に提出
- 6月15日 熊本県弁護士会（公害対策・環境保全委員会）立野ダム予定地現地調査
- 6月22日 熊本市下通りで署名活動とビラ配り（12名参加）
- 6月23日 熊本県勤労者協議会連合会が立野ダム問題学習会（県労働会館）
- 7月6日 熊本市下通りで署名活動とビラ配り（10名参加）
- 7月16日 「阿蘇ジオパーク現地審査で立野峡谷と立野ダム計画について十分な調査と現地視察をお願い」する文書を阿蘇市長に提出
- 7月25,26日 「阿蘇カルデラ国際シンポジウム2013」に参加
- 7月28日 「食とみどり水を守る県民会議」が立野ダム予定地視察
- 7月31日 「阿蘇の世界ジオパーク認定に向け立野ダム計画再考を求める要望書」を熊本県に提出
- 8月8日 新婦人が立野ダム問題学習会（菊陽病院）
- 8月17日 熊本市下通りで署名活動とビラ配り（14名参加）
- 8月27日 国交省が来年度政府予算の概算要求に立野ダム事業費約37億円を盛り込む
- 8月28日 「立野ダム促進陳情への抗議文」を熊本市、熊本県に提出

●白川改修・立野ダム建設促進期成会への要請行動

白川流域4市町村（熊本市、菊陽町、大津町、南阿蘇村）でつくる「白川改修・立野ダム建設促進期成会」は毎年、白川の改修と立野ダム建設促進の陳情をセットで行っています。

今年も同期成会は5月20日に総会を開き、立野ダム建設の促進などを確認しました。それに対し私たちは5月30日、「白川の安全を守るために立野ダムより河川改修を進めることを求める要望書」を熊本市役所を訪れ提出しました。

にもかかわらず、同期成会は8月22日、立野ダム本体工事の早期着工を含む要望書を国交省に提出しました。それに対し私たちは8月28日、抗議文を熊本市役所と県庁を訪れ提出しました。

立野ダムは多くの問題を抱えているにもかかわらず、県知事も流域首長も国の姿勢に追随するばかりです。国は住民に対し、立野ダムについての説明責任を全く果たしていません。行政は立野ダムについて説明責任を果たすべきです。



熊本県庁での抗議文提出 2013.8.28

●白川改修計画 住民案を県に提出

昨年7月12日洪水で、熊本県管理区間（熊本市の小碓橋から上流）の白川は、改修がほとんど未着手であったため、大きな浸水被害を受けました。

昨年10月、熊本県はこの区間の新たな河川改修計画を発表しました。住民の生命と財産を守るために河川改修は必要不可欠ですが、この改修計画を見ると住民が納得できない箇所が多々あります。その後、住民の要望により熊本県は説明会を継続して行い、5月31日には現地での説明会が行われ、住民が求めている資料（白川の流下能力算定表や河道断面図等）も公表されました。

それらをもとに考えた、白川改修計画（熊本県管理区間）現時点での住民案を、6月12日に県に提出しました。これから5年間の改修で、これから何十年、何百年後の白川の姿が決まってしまう。未来を見据えた計画が策定されるように、「ダムによらない治水・利水を考える県議の会」がコーディネートし、熊本県と住民が互いの意見を出し合う住民集会在9月11日に開かれます。

私たちは、白川がより安全で、自然に満ちた、住民すべてに愛される川に改修されるよう、熊本県との協議をこれからも重ねたいと思います。



県による白川改修計画の現地説明会 2013.5.31

●会計報告(2012年12月1日～2013年8月31日まで)

収入の部	金額	備考
繰越金	201,802	
年会費・カンパ	120,800	
合計	322,602	

支出の部	金額	備考
情報開示費	7,050	印紙代、切手代
郵送費	107,150	会報発送、資料発送
事務用品費	24,334	紙代、封筒代、プリンターインク代
ブックレット223冊	149,856	流域首長、議員等に送付
その他	31,700	会場費、印刷機使用料
合計	320,090	

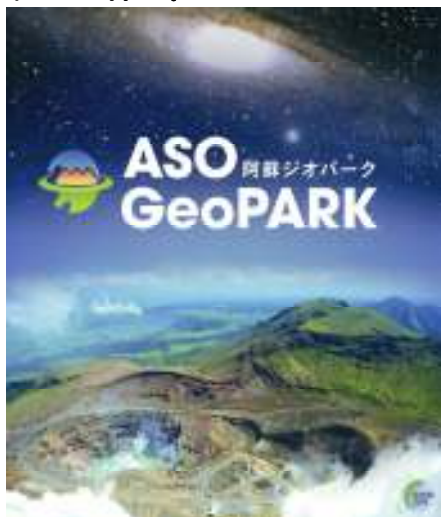
(収入) 322,602 - (支出) 320,090 = 2,512

●会員拡大にご協力ください！

最近の集会にご参加いただいた皆様、ご協力いただきました皆様にも今回、会報5号とイベントのご案内などをお送りしました。「立野ダムによらない自然と生活を守る会」は、皆様方の年会費（一口1000円）とご寄付のみで運営しております。

今回、2013年度分の会費振替用紙を同封させていただきました。会の会計もほとんど底を尽きかけています。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

阿蘇ジオパークをめぐる動き



ジオパークとは、地球科学的に見て重要な自然の遺産を含む、自然に親しむための「大地の公園」です。阿蘇地域は世界ジオパークの国内候補地選考で保留扱いとなっており、今年が3度目の挑戦となります。

阿蘇カルデラの唯一の切れ目である立野峡谷は、阿蘇ジオパークの重要なジオサイトの1つです。立野峡谷の右岸側に見られる、柱状節理（溶岩の冷却時にできた割れ目）が発達した立野溶岩には、溶岩と溶岩の間にいくつもの不連続面が見られ、阿蘇形成の歴史がここに凝縮されていることが非常によく分かります。立野峡谷の美しさと谷の深さ、自然のすばらしさには目を見張るものがあります。この立野峡谷に高さ90mもの立

野ダムを建設してしまえば、阿蘇のジオパークとしての価値も著しく低下してしまいます。地質遺産を確実に保護することも、ジオパークの大きな目的です。

8月に日本ジオパーク委員会が世界ジオパークの国内候補地選考にあたり現地審査をしました。そこで私たちは、7月16日に「阿蘇ジオパーク現地審査で立野峡谷と立野ダム計画について十分な調査と現地視察をお願いします」との文書を阿蘇市長に提出。7月31日には「阿蘇の世界ジオパーク認定に向け立野ダム計画再考を求める要望書」を県知事に提出しました。私たちは阿蘇が世界ジオパークに認定され、永久に保護されることを願っております。



阿蘇市長との懇談 2013.7.16

●署名へのご協力ありがとうございます！

8月末現在約2000人分の立野ダム建設中止を求める署名が集まりました。年内に1万人以上を目標にしております。ご協力よろしく申し上げます。

編集後記 昨年5月に会を結成してから、白川の魅力を多く発見することができました。まずは立野峡谷のすばらしさとキャニオニングです。白川ってこんなに美しく、すごい川だったのか、というのが正直な感想です。次に白川での漁業です。白川漁協には400人以上の組合員さんがいて、アユやカニ、ウナギなどの漁が行われていることも知りませんでした。中流域には多くの堰や井手があり、広大な水田を潤し、日本一の地下水を育てています。そして上流域は、熊本が世界に誇る阿蘇カルデラです。そのすばらしい阿蘇と白川を破壊するのが立野ダムです。立野ダムの一番の問題は、ダム計画自体が住民に全く知らされていないことです。「ナチス政権下で、ドイツのワイマール憲法がいつの間にか変わっていたように、誰も気づかない間に変える手口を学んだらどうか」などと発言した政治家がいましたが、国土交通省は誰も知らぬ間に立野ダム建設を進めようとしています。これからは、立野ダム計画の問題点とともに白川の魅力についても多くの人たちに伝えたいと思います。9月には多くのイベントを企画しました。是非ご参加ください。(N.O.)